

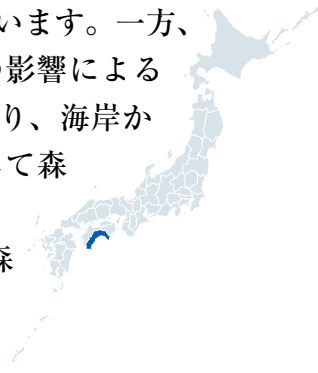
全国漁業信用基金協会 高知支所

1. 高知県の紹介

高知県は、四国地方の南部に位置し、北は四国山地、南は太平洋に面した細長い扇状の形をしています。太平洋を臨む海岸線は700kmを超え、西部はリアス式海岸、東部は隆起海岸で平坦な砂浜が続いています。また、四国山地から太平洋に流れ下る河川が大小存在し、“日本最後の清流”として全国的に知られる四万十川と、近年“仁淀ブルー”で名をはせる仁淀川が二大河川です。

面積は、約7,104km²で、全国では18番目

に広い面積を有しています。一方、複雑な地形と黒潮の影響による温暖多雨な気候により、海岸から山岳部まで連続して森林が発達しているため、県土に占める森林面積の割合は、全国1位となっています。



2. 高知県の水産業

長い海岸線を有する高知県では、伝統の遠洋・近海かつお・まぐろ漁業をはじめ、定置網漁業や魚類養殖業などの沿岸・沖合漁業、あゆ漁やうなぎ養殖などの内水面漁業が営まれており、多種多様な魚が水揚げされています。

高知県の漁業生産額は、近年400億円台で推移しており、令和元年においては、漁船漁業が257億円で全国8位、魚類養殖業が227億円で全国5位となっています。

このうち漁船漁業では、まぐろ類、かつお、そうだがつお類が主となっており、令和元年における生産額が、それぞれ全国4位、4位、1位となっています。



だるま夕日（宿毛市）
（公財）高知県観光コンベンション協会提供



浅尾沈下橋
（公財）高知県観光コンベンション協会提供



仁淀川（秋）（いの町）
（公財）高知県観光コンベンション協会提供

魚類養殖業では、ぶり類、くろまぐろ、まだいが主となっており、令和元年における生産額が、それぞれ全国4位、3位、3位となっています。

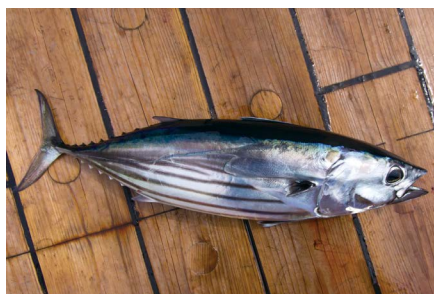
これらの水揚げされた魚は、地元のみならず関東や関西をはじめ広く出荷されており、大都市圏の飲食店等を中心に登録いただいている「高知家の魚応援の店」は1,000店舗を超えています。高知県ではこれらの

店とのネットワークを活用し、外商活動に取り組んでいます。

また、情報伝達の迅速化・作業の軽減に向けた産地市場のスマート化や、海況データや予測情報等を一元的に分かりやすく提供するシステムの構築など、生産、流通、販売の各段階におけるデジタル化に取り組んでおり、効率的な漁業生産体制への転換を進めています。



カツオ一本釣り風景
高知県水産流通課 提供



カツオ
高知県水産流通課 提供



カツオ薫焼き風景
高知県水産流通課 提供

3. 高知支所の概要

- 住所：高知市本町1丁目6番21号
- 電話番号：088-873-7693
- 担当理事：竹内 眞澄
- 担当監事：佐治 仙教
- 会員数：222 会員
- 出資金残高：1,341 百万円
- 保証残高：7,384 百万円
- 役職員数：5 名
(令和3年3月末現在)



4. 高知支所の今後の取り組み

高知県の水産業を取り巻く環境は、水産資源の減少や全国に先駆けて進行している少子高齢化等を要因に、一部の漁業生産量の減少、漁業経営体数および就業者数の減少等、先行きが不透明な状況にあります。加えて、新型コロナウイルスの影響で、魚価の低下や流通の不安定等、悪循環に陥っています。

当支所では、系統金融機関をはじめとする

関係機関と連携強化を図りながら、引き続き中小漁業者に対して、資金繰り支援や国の金融施策の推進を実施し、持続可能な地域水産業の実現へ、保証機関としての社会的責務を果たしてまいります。

また、適正な保証審査、期中管理や求償権管理の業務推進を行い、健全経営に一層努めてまいります。